

CASBEE-新築(簡易版)2008年版
シニアマンションこうやまち亭号館

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2008年版

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.7
Q1 室内環境			0.40			3.5
1 音環境		3.4	0.15	3.5	1.00	3.4
1.1 騒音		4.0	0.40	4.0	0.40	
1 騒音レベル		4.0	1.00	4.0	1.00	
2 騒音対策		-	-	-	-	
1.2 遮音		3.0	0.40	3.3	0.40	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	4.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		2.0	0.35	3.0	1.00	2.5
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温設定		3.0	0.63	3.0	0.63	
2 暑熱緩和・遠隔制御性		-	-	-	-	
3 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38	
4 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
5 温度・湿度制御		-	-	-	-	
6 湿度制御		-	-	-	-	
7 換気空調に対する制御		-	-	-	-	
8 騒音対策		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.6	0.25	3.3	1.00	3.4
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率		5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	-	0.30	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		4.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア		-	-	-	-	
2 昼光制御		4.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度		3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度		-	-	-	-	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		5.0	0.25	5.0	1.00	5.0
4.1 発生源対策		5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		5.0	1.00	5.0	1.00	
2 有害ガス対策		-	-	-	-	
3 有害カビ対策		-	-	-	-	
4 放射性物質対策		-	-	-	-	
4.2 換気		5.0	0.40	5.0	0.38	
1 換気量		5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.50	5.0	0.33	
4 熱気対策		-	-	-	-	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 喫煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.4
1 機能性		3.6	0.40	3.8	1.00	3.7
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	4.0	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画		4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		3.0	0.40	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	4.0	-	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理		-	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	

2 耐用性・信頼性			3.1	0.31		-	3.1
2.1 耐震・免震			3.0	0.48		-	
1	耐震性		3.0	0.80		-	
2	免震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.3	0.33		-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.23		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔		4.0	0.23		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.09		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.15		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23		-	
2.3 適切な更新				-		-	
2.4 信頼性			3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.8	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり				-	4.6	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	-	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.1	1.00		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性		4.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	4.2
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.5	0.30		-	4.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		5.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		4.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.40		-	3.0
2 自然エネルギー利用			2.5	0.20		-	2.5
2.1	自然エネルギーの直接利用		2.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化			3.0	0.40		-	3.0
4 効率的運用				-		-	-
4.1	モニタリング		3.0	-		-	
4.2	運用管理体制		3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			2.2	0.15		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00		-	
2	雑排水再利用システム導入の有無			-		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.9	0.63		-	2.9
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.21		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	ビニル床材	3.0	0.21		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.25		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.8	0.22		-	3.8
3.1 有害物質を含まない材料の使用			5.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68		-	
1	消火剤		4.0	0.33		-	
2	断熱材		3.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	

LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮		3.0	0.33		-	3.0
2 地域環境への配慮		2.6	0.33		-	2.6
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.6	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	-	-		-	
2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制	5.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮		2.4	0.33		-	2.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音	3.0	1.00		-	
2	振動	-	-		-	
3	悪臭	-	-		-	
3.2 風害、日照障害の抑制		1.6	0.40		-	
1	風害の抑制	1.0	0.70		-	
2	日照障害の抑制	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	